

あやめRepo

vol.93

令和8年（2026年）
9月号

発行／山形県長井市

問い合わせ

長井市総合政策課 tel.0238-82-8000
https://www.city.nagai.yamagata.jp



CONTENTS

01 タウンミーティングレポート

02-03 参加した人も、できなかった人も
紙上で振り返るタウンミーティング

04 新たなまちづくりへ
高規格道路の整備

CLOSE UP!

新たなまちづくりへ
高規格道路の整備

長井南産業団地への企業誘致と 産業クラスター構築の促進

今泉地区に整備を進めている長井南産業団地は令和7年度から分譲申込の受付を開始、令和8年度末には造成工事が完了し分譲契約も可能となります。令和8年度からは、個別企業訪問、県等各種企業誘致関連イベント、製造業向け展示会への出展等による誘致活動を行っています。



厳しい環境を乗り越え 長井の未来を拓く

誘致状況としては、7区画のうち1区画で立地協定を締結済み、1区画で申し込みに向けた交渉を進めています。このほか、食品加工や物流事業者からの問い合わせも多数寄せられています。一方、関税政策や中東情勢、円安、物価高騰など、企業を取り巻く環境は厳しく、新たな投資には慎重な姿勢が続いています。こうした状況を踏まえ、市では国の「地域未来戦略」などの動きを注視しながら、産業クラスター創造の取り組みとも連動した企業誘致を進め、長井の経済活性化につなげていくための方策を検討しています。



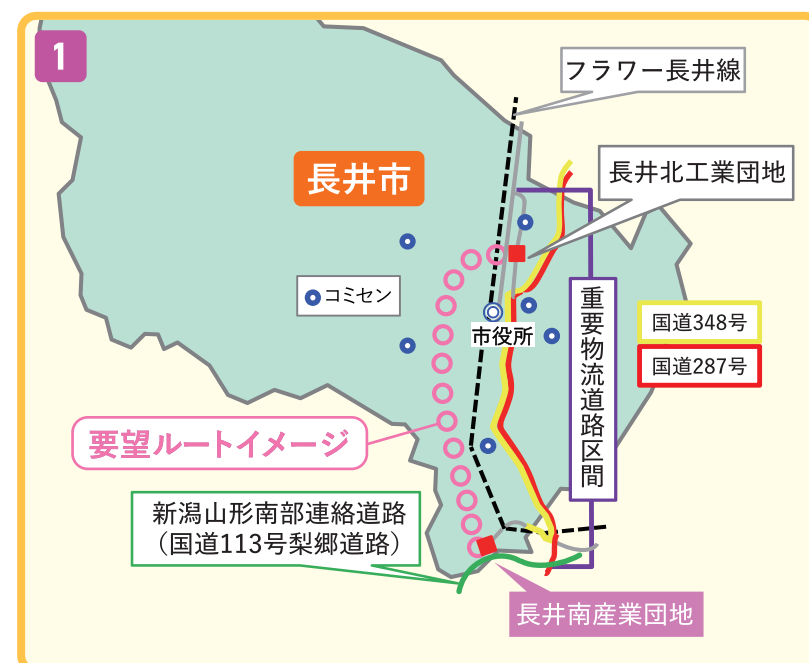
全体事業費の構成と予定額

- 造成工事等…最終見込み 約20億円
(山形県住宅供給公社との協定により立替実施)
※当初協定額は約23億円。調整池工事等を補助事業活用により約4.5億減額、18.5haの用地取得費、造成費、分割手数料など事務経費を含んだ実費を分譲収入でまかなっていくものです。
- 道路整備工事等…約6億円
(国庫補助有) → 実質負担額 2億3百万円

- 調整池整備工事…約4億5千万円
(国庫補助有) → 実質負担額 1億3千万円
- 水道管拡張工事…約9千6百万円
(水道事業企業会計:水道料金で回収)

市の 実質負担額 合計3億3千万円程度

長井南産業団地から/ 高規格道路で広がる、新たな可能性



1 長井南産業団地～長井北工業団地

国道287号と国道348号（重複区間）は、本市の産業と生活の基盤となる重要な幹線道路であり、重要物流道路としての役割も果たしています。しかし、市街地の渋滞等により、地域経済や社会活動の支障となっています。この解消に向け、国道113号梨郷道路から国道348号を単独で南北に縦走・バイパス化し、産業クラスターの拠点となる長井南産業団地、長井北工業団地を結ぶ高規格道路の実現を目指します。

2 長井市～山形市ルート

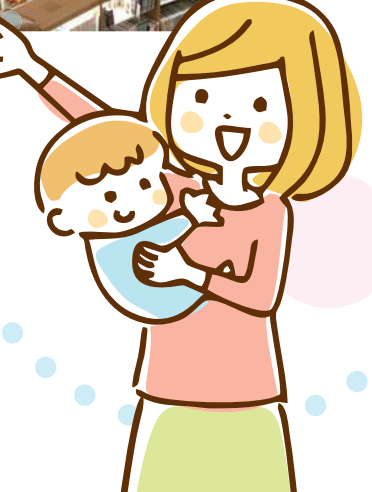
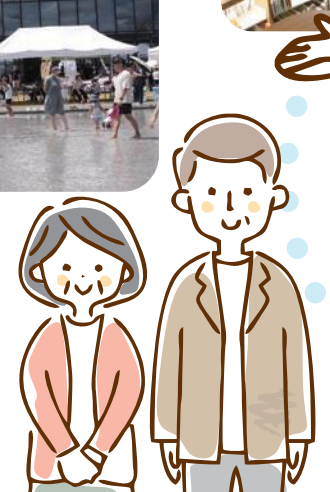
令和8年2月に、推進母体として「国道348号（長井地区）整備促進期成同盟会」を設立しました。今後は市内関係団体と一丸となり、山形県道路中期計画への反映と、山形市間の高規格化に向けた要望活動を展開していきます。県内13市の中で高速道路が市内を貫通していないのは長井市だけです。この高規格道路の整備が実現すると、ルートにより多少誤差は生じますが、長井市から山形市まで約30分程度、仙台市まで約80分程度と想定しています。

みんながしあわせに暮らせる長井

市民と市長の

タウンミーティング

まちの未来を、市民の皆さんと一緒に考える「タウンミーティング」。長井市では、今年7月から9月にかけて、市内6地区で計7回開催されました。人口減少や子育て、地域づくりなど、これからの長井市について率直な意見が交わされ、多くの気づきや新たな視点が生まれました。そのタウンミーティングの内容をお届けします。



タウンミーティング レポート

長井のこれからを考える、たくさんのヒント



豊田コミュニティセンター

参加者の声
組織が混在していて地区の役職を様々な人で担わなければならない。人口減少が進む中、人口に合わせた組織にしていかなければならない。企業誘致を是非進めてほしい。山形市まで30分という高規格道路は実現可能か？



平野コミュニティセンター

参加者の声
市内に重複しないカタチで様々な診療科の医療機関が欲しい。小学校は地域の拠点。統合はしないでほしい。「スクールコミュニティ」ってどう進めていく？

開催日程	
7月28日（火）	市民文化会館
8月10日（月）	平野コミュニティセンター
8月21日（金）	市民文化会館
8月25日（火）	豊田コミュニティセンター
8月31日（月）	伊佐沢コミュニティセンター
9月2日（水）	致芳コミュニティセンター
9月14日（月）	西根コミュニティセンター

多くの皆様からのご意見
ありがとうございました！



参加した人も、できなかった人も/
紙上で振り返る

タウンミーティング

厳しい財政再建を乗り越え、公共施設やまちの基盤整備をはじめ、魅力ある地域づくりや中心市街地の活性化など、これまで進めてきた取り組みを紹介しました。さらに、これからの長井市が目指すまちづくりや新たな構想について説明し、市民の皆さんと未来について意見を交わしました。

HARD
① 長井市役所

- 工 期：令和元年7月～令和3年9月
- 事業費：約54 億円
- 主な財源：市町村役場機能緊急保全事業債、地域活性化事業債、地方創生拠点整備交付金 等

HARD
② 遊びと学びの交流施設 くるんと

- 工 期：令和3年10月～令和5年7月
- 事業費：約41億8,000万円
- 主な財源：都市構造再編集中支援事業費補助金（国土交通省）

SOFT
① やまがたアルカディア 観光局

長井の魅力を伝え
関係人口を増やす

南陽市、白鷹町、飯豊町、小国町の2市3町と共に、地域連携DMOとして「観光地域づくり」を進めています。道の駅「川のみなと長井」を拠点に観光案内、観光商品の企画・販売に取り組み、国内外からの観光誘客を促進しています。

SOFT
② コミュニティセンターの充実

市民みんなで支え合う地域づくり

市内6地区の公民館をコミュニティセンター（コミセン）に移行し、（一社）長井市コミュニティ協議会を設立しました。全てのコミセンに社用車を配置して移動支援など事業を充実させるとともに、各コミセンを拠点に住民主体の地域づくり活動に取り組んでいます。

HARD
③ タスビル

- 工 期：第1期/令和3年4月～令和4年3月
第2期/令和5年8月～令和6年4月
- 事業費：約22億4,000万円
- 主な財源：デジタル田園都市国家構想交付金 等

HARD
④ 給食共同調理場

- 工 期：令和2年3月～令和3年3月
- 事業費：約3 8億3,000万円（建設設備費、運営費含む）
- 整備方法：PFI 方式。民間の力を活用した施設整備、運営を行うこと

HARD
ハード面
からの
まちづくりSOFT
ソフト面
からの
まちづくりSOFT
③ スマートシティ事業
の推進

DX やAX など未来都市として
必要な力

AIカメラ設置による有害鳥獣対策やデジタル地域通貨「ながいコイン」の展開等、デジタル化による地域課題解決を目指すとともに、取り組みに係るデータを収集・分析し、より安全で便利なまちづくりを実現できるように取り組んでいます。

HARD
⑤ 公立置賜長井病院

- 工 期：令和元年11月～令和4年10月
- 事業費：約39億9,000万円
- 主な財源：国庫補助約8億4,000万円 等

HARD
⑥ 長井市民文化会館

- 工 期：令和元年6月～令和2年7月
- 事業費：約15億9,000万円
- 主な財源：公共施設等適正管理推進事業債 等

SOFT
④ 教育・子育てが充実したまち

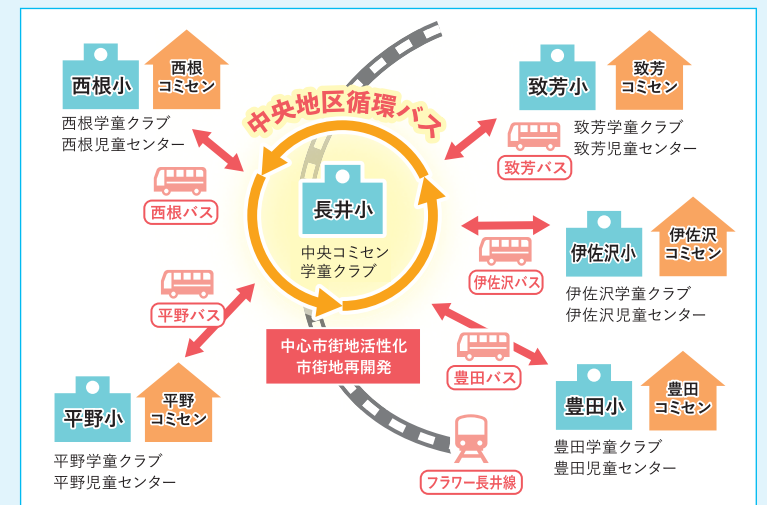
首都圏や市外からの移住定住の切り札

英語教育や起業家教育などの特色ある取り組みや高校生までの医療費無償化、屋内遊戯場を備えたくんとの整備などを実施しています。

SOFT
⑤ 中心市街地活性化計画と
市街地再開発事業

地方都市の特色を生かし都市機能を充実

長井マラソンやまちなかにぎわい創出事業など、市内外から多くの人が訪れ、楽しめるようなイベントを企画し交流を生み出しました。

長井市が目指す未来
～次世代を担う若者に選んでもらえる長井市～FUTURE
① こどもまんなか社会×コンパクトシティ

小さな拠点と地域公共交通の充実

「こどもまんなか社会」を実現するため、小学校と各コミセンを一体化し、中心市街地を巡る自動運転バス2台と市民バス5台を結ぶネットワークの構築、また、フラワー長井線と米坂線を一体化し、30分に一本の列車を走らせることを目指します。市とコミセンがこれまで以上に緊密に連携し、市民の皆様の自発的な活動を支援することで、地域課題の解決や新たな文化の創造が生まれる、協働のプラットフォームを構築します。

FUTURE
② デジタルツインの活用

より災害に強い安心安全な
まちづくり

現実空間にある地形や構築物（河川、道路、建物等）を仮想空間（3D 空間）でリアルに再現し、3D 空間上で高度なシミュレーションを行うことができる最新技術。防災・まちづくり・観光などさまざまな分野での活用が期待されています。

FUTURE
③ バイオガス発電レインボープランを
エネルギーの循環へ

家庭等の食品廃棄物から電力とバイオ液肥を創出し、電力は「ノフク連携の園芸施設」でのスマート農業に、液肥は学校給食米等の生産に活用します。収穫した作物を給食や直売所へ届けることで、地産地消と食育を一体的に推進します。

FUTURE
④ ウォーカブルなまちづくり

まちなかを歩きたくなる
空間を創出

国の重要な文化的景観を構成する「宮・小桜街区」を中心とし、まちを歩き芸術・文化を楽しむ空間整備を行います。最上川舟運で栄えたまちの歴史と文化を生かした道路や水路、空き家・空き店舗を活用したミニ美術館やカフェなどを整備し、歩きたくなるような環境と新たな交流の場を生み出します。

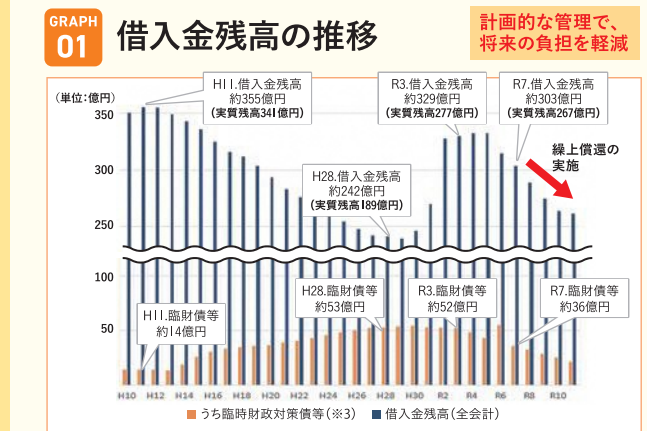
FUTURE
⑤ 移住・定住の取り組み

住み続けたいまちへ

人口減少による担い手不足などの解決策のひとつとして、移住政策に取り組んでいます。首都圏での移住相談会で長井の良さを情報発信したり、長井を実感してもらったためのお試し暮らし体験や農業体験、支援制度や先輩移住者との交流などのサポート体制も整えています。

グラフで見る 財政状況

さまざまな工夫で財政の負担を少なくしています



オレンジ色のグラフは臨時財政対策債（全額地方交付税としての市への流入になるお金）です。借入金残高から臨時財政対策債を差し引いた部分が実質の残高となります。計画的な管理を行い、なるべく市の負担が少なくなるようにしています。また、返すお金を前倒して返還する計画を立てて将来の負担も少なくするように調整しています。

施設名	事業費	国県支出金 交付金や補助金	（事業費の内訳）			一般財源 市が自由に 使えるお金
			市の借金	国の後年度 負担するお金	その他の財源 その他の財源	
旧長井小学校第一校舎	9億6千万円	2億2千万円	7億1千万円	2億3千万円	0円	3千万円
給食共同調理場	11億2千万円	2億5千万円	8億3千万円	3千万円	1千万円	3千万円
市民文化会館	15億9千万円	0円	15億9千万円	6億9千万円	0円	800万円
市役所庁舎	54億1千万円	2億1千万円	50億円	12億5千万円	2億円	9千万円
タス	23億4千万円	9億9千万円	13億4千万円	5億5千万円	0円	800万円
遊びと学びの交流施設くるんと	41億9千万円	19億2千万円	21億円	6億6千万円	0円	1億7千万円
公立置賜長井病院	39億9千万円	8億6千万円	※	31億円	7億7千万円	0円

◆事業費は、建設事業費（経費な備品、用地の取得費などは含んでいません）◆10万円以下を四捨五入しているため会計が合わない場合があります。
※公立置賜長井病院の市債は、置賜広域病院企業団で発行した地方債の額です。

この10年間長井市では市民サービスや公共施設整備に取り組んできました。今後人口減少により財政規模が縮小することを見据え、金利が低い状況であったことや、補助率の高い起債を活用し、集中的に取り組んでいます。

GRAPH
③ 健全化判断比率
（令和6年度決算）

	長井市	イエローカード （早期健全化基準）	レッドカード （財政再生基準）
① 実質赤字比率	—	13.63	20.00
② 連結実質赤字比率	—	18.63	30.00
③ 実質公債費比率	14.3	25.0	35.0
④ 将来負担比率	245.6	350.0	—

※地方自治体の財政状況を客観的に表し財政の早期健全化や再生の必要性を判断する4つの指標

■ 早期健全化基準……この基準を超える「財政健全化計画」の策定が必要

■ 財政再生基準……起債するとき国の許可が必要になる

① 実質赤字比率……一般会計における実質的な赤字額を示した割合

② 連結実質赤字比率……一般会計と公営企業会計などすべての会計における赤字や資金不足の大きさを示した割合

③ 実質公債費比率……財政規模に対する年率あたりの借入金の返済割合を示す指標

④ 将来負担比率……財政規模に対する負債全体の大きさを示し中長期的な視点で財政を圧迫する可能性をみるための指標

[長井市財政の移り変わり]

昭和50年代以降	小中学校など学校施設、道路や下水道事業着手など、まちの基盤を集中して整備。この時、国や県からの財政支援が 少ない事業 もあった。
平成初期	職員採用を積極的に行なったことなどにより、 人件費が大きな負担 となっていた。
平成10年頃	増加した 公債費（借金） がピークとなり、財政を圧迫する状態に。
平成13年度～	「長井市行政改革推進実施計画」に基づき、 財政の立て直しに着手 。
平成18年度～	「長井市自立計画」「長井市行政改革推進計画2006～集中改革プラン～」を策定し、財政健全化に向けた 取り組みをさらに強化 。市民の方々にも協力いただきながら、財政の立て直しに取り組む。
平成26年度	市の財政が一定の健全度を保てる水準 となる。
この頃、財政立て直しの中で先送りにしてきた、公共施設・インフラの老朽化対策が喫緊の課題となっていた。	
平成28年度～	財政負担の軽減や平準化を図りながら施設の効率的な維持管理と整備を行っていくために「 長井市公共施設等整備計画 」を策定。以降現在まで、計画的に整備を進めてきた。